



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6557

四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,218	5.0	348	7.1	282	43.9	222	39.5
29年3月期第3四半期	3,388	18.3	325	3.4	196	10.0	159	25.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 253百万円 (221.7%) 29年3月期第3四半期 78百万円 (58.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	7.43	7.42
29年3月期第3四半期	5.33	5.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	19,060	4,585	24.0
29年3月期	19,093	4,329	22.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,582百万円 29年3月期 4,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	2.1	420	0.7	290	8.4	240	53.8	8.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	30,000,000 株	29年3月期	30,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	68,599 株	29年3月期	67,698 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	29,931,762 株	29年3月期3Q	29,933,208 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果や極めて緩和的な金融環境のもと、総じて緩やかな回復基調が続いています。雇用・所得環境の改善が続かなかで、所得から支出への循環メカニズムが働き始めており、個人消費も緩やかに持ち直しています。ただし、引き続き海外経済の不確実性などに注意を要する状況は続きました。

事業環境については、個人消費の緩やかな持ち直しを背景に改善傾向にありますが、季節性の商品が気候不順の影響を受けるなど厳しさの残る分野もありました。

こうした中で、当社グループは、引き続き「中期経営計画 Bridge to the Future ～未来への架け橋～」に基づき、商業施設事業、ヘルスケア事業、繊維・アパレル事業の各事業における諸施策に鋭意取り組みました。特に、商業施設事業においては静岡県所在の「サントムーン柿田川」の追加開発に関する予備検討を加速させるとともに、20周年イベントに注力しました。さらに、ヘルスケア事業への経営資源のシフトを進めるとともに提案営業力の強化にも注力しました。また、ファーストブラザーズ株式会社、伊藤超短波株式会社および株式会社シードとの資本業務提携を活かし、各事業部門での事業基盤の強化に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同期比減収増益の決算となりました。その内訳は、商業施設事業における前年同期の臨時的な収入がなくなったことや季節性の一般寝装品や衣料品の一部で伸び悩んだことを主因に、売上高が32億18百万円(前年同期比5.0%減)と減収になりましたものの、販管費の減少と粗利率の改善効果により、営業利益は3億48百万円(前年同期比7.1%増)と増益になりました。さらに、前年同期に発生した一過性の営業外費用がなくなったことや遊休不動産の譲渡益計上などにより経常利益も2億82百万円(前年同期比43.9%増)と増益になりました。これに、前年同期に計上した特別利益・特別損失が共になくなったことや法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億22百万円(前年同期比39.5%増)の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」における20周年企画やハロウィン及びクリスマスの季節関連イベントなどを積極的に実施した効果もあり堅調に推移し、計画を上回るペースで推移しているものの、前期に計上した臨時的な収入がなくなったことが響き、売上高は前年同期を下回りました。これに、20周年企画における一部リニューアル工事費用の臨時支出があり、営業利益も前年同期を下回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は17億41百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益は7億5百万円(前年同期比6.3%減)となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、当社独自のバイオ麻製品等において一部OEM先の販売が伸び悩んだことを主因に、売上高は前年同期を下回りました。一般寝装品部門につきましては、春先の掛け布団に関する提案営業の成果はあったものの、夏場の需要減退など季節性商品の伸び悩みが響き、売上高は前年同期を下回りました。さらに、原材料費の高止まりもあり、ヘルスケア事業の営業損益は前年同期を下回りました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は5億76百万円(前年同期比9.8%減)、営業損失は28百万円(前年同期は営業損失22百万円)となりました。

(繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、市況が軟調な布帛関連の一部OEM取引先での販売が伸び悩んだことを主因に、売上高は前年同期を下回りました。ユニフォーム部門につきましては、官需ユニフォーム生地の販売が伸びたことから、売上高は前年同期を上回りました。これに、粗利率の改善と経費削減効果があり、繊維・アパレル事業の営業損益は前年同期を上回りました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は9億円(前年同期比7.8%減)、営業損失は6百万円(前年同期は営業損失7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は190億60百万円(前期末は190億93百万円)となり、前期末に比べ33百万円減少(前期末比0.2%減)しました。主な要因は、現金預金の増加2億4百万円、有形固定資産の減少2億19百万円であります。

負債の残高は144億75百万円(前期末は147億64百万円)となり、前期末に比べ2億89百万円減少(前期末比2.0%減)しました。主な要因は、短期借入金の増加61百万円、長期借入金の減少2億53百万円、長期預り保証金の減少59百万円であります。

純資産の残高は45億85百万円(前期末は43億29百万円)となり、前期末に比べ2億55百万円増加(前期末比5.9%増)しました。主な要因は、利益剰余金の増加2億22百万円、その他有価証券評価差額金の増加30百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月11日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,678,627	1,883,370
受取手形及び売掛金	480,554	499,741
たな卸資産	461,982	472,463
繰延税金資産	60,785	60,538
その他	341,293	267,408
貸倒引当金	△1,110	△580
流動資産合計	3,022,133	3,182,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,166,885	5,949,870
土地	9,339,792	9,331,375
その他（純額）	194,564	200,371
有形固定資産合計	15,701,243	15,481,617
無形固定資産	9,417	9,317
投資その他の資産		
投資有価証券	280,920	321,430
破産更生債権等	90,173	88,978
その他	76,531	61,542
貸倒引当金	△86,632	△85,526
投資その他の資産合計	360,992	386,425
固定資産合計	16,071,652	15,877,359
資産合計	19,093,785	19,060,301

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,203	423,360
短期借入金	338,400	399,400
未払法人税等	29,762	42,964
賞与引当金	32,481	18,106
株主優待引当金	16,338	—
その他	722,073	667,068
流動負債合計	1,523,259	1,550,899
固定負債		
長期借入金	8,807,800	8,554,000
長期預り保証金	1,755,888	1,695,981
繰延税金負債	279	13,564
再評価に係る繰延税金負債	2,211,637	2,211,637
退職給付に係る負債	260,227	262,575
資産除去債務	52,923	53,496
その他	152,183	132,971
固定負債合計	13,240,938	12,924,226
負債合計	14,764,197	14,475,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△2,658,134	△2,435,606
自己株式	△7,138	△7,206
株主資本合計	△661,897	△439,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,352	22,525
繰延ヘッジ損益	445	△0
土地再評価差額金	4,993,002	4,993,002
為替換算調整勘定	5,767	6,047
その他の包括利益累計額合計	4,990,863	5,021,575
新株予約権	622	3,036
純資産合計	4,329,588	4,585,175
負債純資産合計	19,093,785	19,060,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,388,333	3,218,245
売上原価	2,412,973	2,290,199
売上総利益	975,359	928,045
販売費及び一般管理費	650,153	579,715
営業利益	325,206	348,330
営業外収益		
受取利息	44	32
受取配当金	4,586	4,584
持分法による投資利益	5,763	—
還付消費税等	48,324	—
固定資産売却益	—	20,232
その他	2,275	1,122
営業外収益合計	60,995	25,971
営業外費用		
支払利息	95,012	85,888
その他	95,046	6,259
営業外費用合計	190,058	92,148
経常利益	196,143	282,153
特別利益		
出資金売却益	109,743	—
特別利益合計	109,743	—
特別損失		
繰上返済精算金	107,257	—
特別損失合計	107,257	—
税金等調整前四半期純利益	198,629	282,153
法人税、住民税及び事業税	37,091	55,834
法人税等調整額	2,002	3,789
法人税等合計	39,094	59,624
四半期純利益	159,535	222,528
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,535	222,528

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	159,535	222,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,004	30,877
繰延ヘッジ損益	901	△445
為替換算調整勘定	△8,127	279
持分法適用会社に対する持分相当額	△99,595	—
その他の包括利益合計	△80,817	30,711
四半期包括利益	78,717	253,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,717	253,240
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設 事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,772,513	639,220	976,599	3,388,333	—	3,388,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	342	—	85	427	△427	—
計	1,772,855	639,220	976,684	3,388,760	△427	3,388,333
セグメント利益又は損失(△)	753,368	△22,912	△7,706	722,749	△397,542	325,206

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△397,542千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設 事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,741,172	576,398	900,674	3,218,245	—	3,218,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	342	—	108	450	△450	—
計	1,741,514	576,398	900,782	3,218,695	△450	3,218,245
セグメント利益又は損失(△)	705,644	△28,820	△6,251	670,572	△322,241	348,330

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△322,241千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。